

平成 31 年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

## I. 平成 31 年度 事業計画の概要

たましん地域文化財団は、その使命を多摩地域で暮らす人々に美術や歴史に親しんでもらうこと、そして制作・研究をする方々の応援をすることと考え、事業を計画、実施しています。

平成 31 年度は、平成 24 年の公益法人移行後最大の転換点を迎えることとなります。

公 1(美術館・ギャラリーの運営事業)においては、平成 32 年度春に「たましん美術館(仮称)」(立川市北口みどり地区)の開設を控えています。一方、「御岳美術館」、「たましんギャラリー」は本年 9 月に閉館することになり、長年続けてきた 3 館体制が 2 館体制へと移行します。これを機会により一層の展示内容の充実を図ること、そして更なる地域への貢献が求められます。

公 2(『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業)では、事業の柱である『多摩のあゆみ』の刊行に加え、手軽に資料を閲覧できる環境を整備すべく、ここ数年インターネット環境でのデジタル情報開示の充実を図っております。平成 31 年度についても当財団で所蔵する地域資料の「絵葉書」を公開します。

更に、公 1、公 2 ともに事業展開に不可欠な要素として地域や専門家とのネットワークがあり、公 1 では他の美術館や美術大学との交流、公 2 では地域内の専門機関である国文学研究資料館や東京都立多摩図書館等との交流や事業の共催等関係の強化を図ってまいります。

超高齢社会となり、文化・芸術に対する要望は各方面から高まっています。当財団の事業も公益法人としてそのご期待に応えていくことが地域における存在意義であると認識し、多摩地域の文化・芸術の発展に貢献できるよう努めてまいります。

## II. 公益目的事業

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公 1. 美術館・ギャラリーの運営事業(以下「美術」という。)

公 2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(以下「歴史」という。)

### 1. 美術 (公 1)

#### (1) 企画展覧会

##### ① たましん歴史・美術館

平成 31 年度は、4 会期の美術展を開催します。

##### 1) 「生誕 100 年佐藤多持展 ～水芭蕉曼陀羅／果てしなき運動体～」

4 月 2 日(火)～6 月 30 日(日) 開館期間 73 日

##### 2) 「美術のぼうけん★」子ども向け展覧会 7 月 20 日(土)～9 月 15 日(日) 開館期間 50 日

##### 3) 「東洋古陶磁展 ～陶芸入門・古陶磁のいろは～」

10 月 1 日(火)～12 月 8 日(日) 開館期間 58 日

##### 4) 「たましんコレクション展一線からはじまる。」

平成 32 年 1 月 7 日(火)～6 月 28 日(日) 開館期間 71 日

(年度内日数)

## ② 御岳美術館

「美と出逢うたましん御岳美術館展」  
「倉田三郎記念室 旅の素描―世界―」

2月19日(火)～9月29日(日) 開館期間 157日

## (2) たましんギャラリー

### ① たましんギャラリーの運営

平成31年度は、作家へのギャラリー提供は行わず、閉廊に向けて当財団による企画展を開催します。

#### 1) サテライト展示

「生誕100年佐藤多持展 ～水芭蕉曼陀羅／果てしなき運動体～」

	4月4日(木)～6月4日(火)	開廊期間 58日
前期	4月4日(木)～4月29日(月・祝)	開廊期間 26日
後期	5月2日(水)～6月4日(火)	開廊期間 32日

#### 2) たましんギャラリー閉廊展

「“たましんギャラリー”の作家たち ―1974～2019年の歩み―」 開廊期間 77日

I 会期・テーマ:風景	6月6日(木)～7月23日(火)	開廊期間 33日
II 会期・テーマ:人物	7月25日(木)～8月27日(火)	開廊期間 23日
III 会期・テーマ:抽象	8月29日(木)～9月30日(月)	開廊期間 21日

## (3) 調査・研究・収集・保存

### ① 作家研究・データベース構築

倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ継続して所蔵作品や資料の調査、作家研究を行い、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築して、将来の情報発信や展覧会開催のための基礎データとして活用します。

### ② 作品・資料の収集

倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ多摩地域の重要な作家の作品・資料、多摩地域の美術に関する寄贈図書等を引き続き収集します。

### ③ 作品の修復及び額新装

展覧会での展示にあわせ、作品の額新装、マット新装を行います。また修復が必要な作品については、専門業者による作品修復の実施について検討します。

### ④ 資料保存環境の整備

資料保存環境整備について継続して実施します。展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財 IPM(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行います。加えて、定期的に収蔵庫内の清掃を行い、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存します。

⑤ 所蔵作品のフィルムデータの整備

所蔵作品に関する「ポジフィルム」の整備を実施し、平成 32 年度に予定している展覧会の図録作成、所蔵品目録の作成、所蔵品のデジタルアーカイブ化の準備をします。

⑥ 美術図書資料

収蔵作家および多摩地域に関連した美術資料の充実を図ります。整理作業を定期的に行い、配架します。

(4) 美術講座・美術教育

各展覧会の開催に当っては、入館者に作品に親しみ、理解を深め、愉しんでもらうことを目的に、作品解説や、イベントを実施します。

① ギャラリートークの開催

1) 生誕 100 年佐藤多持展

4 月 16 日(火)、5 月 25 日(土) 各回 14:00～

・学芸員藤森梨衣が展示作品の解説を行います。

2) 美術のぼうけん★展

7 月 20 日(土) 主な対象:未就学児・親子

8 月 24 日(土) 主な対象:小学 4～6 年生 各回 14:00～

・学芸員杉本藍が展示作品の解説を行います。

3) 東洋古陶磁展

11 月 15 日(金) 14:00～

・学芸員藤森梨衣が展示作品の解説を行います。

② トークイベント型の作品解説

1) 生誕 100 年佐藤多持展

ア) 生誕 100 年記念トークセッション 「佐藤多持を語る」

4 月 13 日(土) 14:00～15:30

佐藤多持夫人、共に「WILL 美術家会」で活動された画家の知久正義氏、国立の老舗画廊『岳』のオーナー佐野佳代氏、当財団学芸員藤森梨衣による「佐藤多持を語る」と題してのトークセッションを開催します。

参加費無料、事前申込み制。定員 50 名。

イ) 学芸員によるスライドレクチャー

6 月 22 日(土) 14:00～

生涯の作品変遷を、スライドを使って学芸員がわかりやすく解説します。

参加費無料、事前申込み制。定員 50 名。

## 2) 美術のぼうけん★展

展示作家と担当学芸員によるスペシャルトークを開催します。

ア) 「画家大岡澄雄さんと作品をたのしもう」

7月27日(土) 14:00～ 主な対象:中学生以上

イ) 「彫刻家大塩英夫さんと作品をたのしもう」

8月31日(土) 14:00～ 主な対象:小学1～3年生

## ③ スケッチ講座

御岳美術館では「スケッチの日」として、スケッチ体験講座を行います。

御岳美術館での「スケッチの日」は今回が最終回となります。

4月10日(水)・11日(木) 各回 10:00～15:30

## (5) 地域との連携

### ① 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、平成31年度は「クリムト没後100年記念・魅惑の世紀末絵画」と題して3回の講座を予定しています。

第1回 5月19日(日) 「ロートレック～モンマルトルの哀愁～」

第2回 6月2日(日) 「クリムト～世紀末ウィーンの光芒～」

第3回 6月23日(日) 「ムンク～北欧・魂の叫び～」

講師 齋藤陽一氏 (元NHK「日曜美術館」プロデューサー、嘉悦大学客員教授)

会場 くにたち市民芸術小ホール

募集人員 毎回75名(延べ225名)

受講料 無料

### ② 学校との連携

#### 1) 地域の小学校との連携

平成30年度に実施した、地域内の小学校での作品鑑賞のアウトリーチ事業を平成31年度も継続して行います。平成30年度は国立市立第八小学校の3・4年生を対象としましたが、平成31年度は同校の全学年を対象に実施し、一部学年については美術館での鑑賞ワークショップを行います。ほか多摩地区の小・中学校へも募集を行います。

#### 2) 美術大学との連携

ア) 学生への広報物制作機会の提供

当財団と地域内の美術大学の交流を深める機会として、また学生への制作の場の提供を目的として、武蔵野美術大学、女子美術大学デザインルームの各大学の教員の監修のもと、展覧会の印刷物及び看板類の作成を依頼します。

## イ) 人的交流の促進

地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へと繋げて行きます。平成 30 年度はこの活動が不十分であったことから、各美術大学への定期的訪問により教授陣との情報交換等を積極的に行います。

## (6) 広報・普及活動

### ① 広報活動の実施・広報手段の拡充

当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。

また、来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビおよび新聞社や地域誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行います。

### ② 配布先の検証

今年度もポスター・案内はがき・チラシ等の送付先は一律とはせず、展覧会の企画内容に応じて変動させます。またその効果の検証を行い、随時改善を図ります。

## (7) 「たましん美術館」開設に向けての準備活動

### ① 「たましん美術館(仮称:以下省略)」の展示計画策定・平成 32 年度の展示準備

#### 1) 「たましん美術館」の展示計画の策定

平成 32 年度春の開設後 3 年間の展示計画を策定します。新美術館は建物が新築のため美術品にとって相応しくないガスが発生することから、開設後 2 年間程度の「枯らし期間」が必要となります。そのため 2 年間は収蔵作品の展示を柱とした展示計画を策定します。

#### 2) 「たましん美術館」の展示準備

上記計画に基づき、「たましん美術館」開設以降の 3 年分の展覧会準備を行います。

開館 2 年間は、「近代洋画の優品展」「東洋古陶磁展」「現代多摩の作家たち展」等所蔵品による展覧会及び、第 2 回次世代支援プロジェクト展を企画しています。

3 年目以降は、子どもを対象としたワークショップ等参加型の現代作家による展覧会、松村健三郎、原光子、山口瞳、小貫政之助等の多摩の作家たちの展覧会開催を検討しています。

### ② 作品貸借の準備

「枯らし期間」が終了する新美術館開設 3 年目以降は他の美術館等、外部から作品借用による展示を計画しています。

またその環境づくりのために、たましんコレクションを外部に貸与することも早期に開始する必要があります。そのための体制整備として以下の準備活動を実施します。

- 1) たましんコレクション貸与に関する規程等の制定
- 2) 収蔵品作品図録の作成
- 3) 作品借用規程の検討
- 4) 他館とのネットワーク作り
- 5) 作品所蔵先の調査(他館所蔵品図録の収集を含む)

## 2. 歴史（公2）

### (1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記に示す通り、各号ごとに特集テーマを定め、各分野にわたり地域の研究者による調査・研究の成果を掲載します。

174号「用水と暮らし」(仮題)	5月15日発行
175号「歩いて感じる多摩の地形と歴史」(仮題)	8月15日発行
176号「米軍基地と多摩」(仮題)	11月15日発行
177号「多摩の昔話」(仮題)	平成32年2月15日発行

各号14,000部を発行し、歴史資料室・財団の各施設、たましん本支店で配布するほか、郵送希望者には定期送付します。

また、多摩地域30市町村の公立図書館・博物館等に贈呈しており、これらの機関でも閲覧できるようにしています。

### (2) 歴史資料室の運営

#### ① 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。

#### ② 国土地理院発行の多色刷地形図の収集

平成29年度から一般財団法人日本地図センターのWebサイトを通じて、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入しています。明治期から平成期にかけての2万5千分の1地形図をはじめ、1万分の1地形図と5万分の1地形図、合計175点を3ヵ年計画で収集します。

最終年度の平成31年度は、多摩全域の1万分の1の多色刷地形図49点を購入します。

### (3) 多摩の歴史講座

(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回の連続講座を実施します。平成31年度で23回目を迎え、テーマとして「多摩の旧石器時代」を予定しています。

会場は昨年同様多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、110名を募集します。受講料は無料です。

### (4) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館、東京都立多摩図書館、そして今年度国分寺市に移転する東京都公文書館との連携を深め、協働での活動を検討します。また各市の市史編さん事業等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

### (5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』に連載している「多摩の金融史」は173号で8回目の掲載となりました。多摩金融史研究会のメンバーが公益財団法人全国銀行学術研究振興財団から学術研究助成を受けることから資料整理体制を整備し、多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の資料整理を更に進めます。

### (6) 広報・普及活動

#### ① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。

#### ② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

現在、ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムには『多摩のあゆみ』バックナンバー(創刊号～第100号)、歴史資料室所蔵資料の絵図・地図16点とチラシ23点、合計39点を公開しています。平成31年度については、新たに歴史資料室所蔵の絵葉書の公開を行います。

### Ⅲ. 収益目的事業

#### 1. 物品販売事業及び喫茶事業（収1）

##### (1) 物品販売事業

たましん歴史・美術館ではオリジナルの絵はがきを販売します。

また、御岳美術館では、絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等各種土産品の委託販売を行います。

##### (2) 喫茶事業

御岳美術館で、来館者にコーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を 300 円で提供します。

## IV. 管理

### 1. 役員及び役員会等に関する事業(定款第4条第9号)

#### (1) 理事、監事及び評議員の任期

- ① 評議員 平成28年6月17日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ② 理事 平成30年6月19日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
- ③ 監事 平成30年6月19日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

#### (2) 理事会等の開催

- ① 理事会 年3回
- ② 評議員会 年2回
- ③ 決算監査 年1回

事業計画の内訳

公益目的事業

1. 美術館・ギャラリーの運営事業(公1)

(定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 9,948 千円)

(1)企画展覧会

①たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	生誕100年佐藤多持展 ～水芭蕉曼陀羅／果てしなき運動体～	自主	前期展: 4月2日(火) ～5月12日(日) 後期展: 5月18日(土) ～6月30日(日)	73	画家・佐藤多持の生誕100年を記念した回顧展を開催いたします。 初期～60年代の作品は通期展示、前期展では70～80年代の作品、後期展とたましん ギャラリーでは90年代～2004年の作品を中心とし、初期作品から絶筆まで全120点を 展示。《水芭蕉曼陀羅》と、ドローイングや色紙、初期作品ほか写真・画材などの関連資 料により、生涯の芸術表現の変遷を辿ります。 また本展にあわせ、5年の歳月をかけ1980年に完成・奉納した生家・観音寺の水芭蕉 曼陀羅36面の襖絵が特別公開されます。 連携展示として、青梅市立美術館、画廊『岳』、コート・ギャラリー国立、ギャラリー国立 を予定しています。	6,485
2	美術のぼうけん★	自主	7月20日(土) ～9月15日(日)	50	主人公が旅をする中で、いろいろな出会いを経て、成長していくように、作品をみる力 を身につけながら、作品を鑑賞していくことで、作品鑑賞の面白さや楽しさ、さまざまな 気づきを得る内容の展覧会です。 「ぼうけん」をテーマに、絵画や版画、彫刻、古陶磁などのたましんコレクションに親しみ ます。 子ども向けですが大人も楽しむことができます。	
3	東洋古陶磁展 ～陶芸入門・古陶磁のいろは～	自主	10月1日(火) ～12月8日(日)	58	たましんコレクションから、日本・中国・朝鮮の古陶磁を展示し、三国のやきものの魅力 をご紹介します。 本展は陶芸に関する基礎知識を身に付けることで、やきものに一層親しむ内容です。 また、たましんコレクションの絵画作品を併設展示します。	
4	たましんコレクション展－線からはじまる。	自主	平成32年 1月7日(火) ～6月28日(日)	71 年度内 日数	線に注目しながら、日本画や浮世絵、工芸などのたましんコレクションを展示し、多様で 多彩な線の魅力にふれる展覧会を開催します。	

② 御岳美術館

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	美と出逢うたましん御岳美術館展 ◇倉田三郎記念室 旅の素描－世界－ ◇常設 日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち	自主	平成31年 2月19日(火) ～9月29日(日)	157 年度内 日数	近代洋画、工芸を中心にたましんコレクションを紹介する展覧会を開催します。	1,703

## (2) たましんギャラリー

## ① たましんギャラリーの運営

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催 日数		
1	サテライト展示 「生誕100年佐藤多持展 ～水芭蕉曼陀羅／果てしなき運動体～」	自主	前期 4月4日(木) ～4月29日(月・祝) 後期 5月2日(水) ～6月4日(火)	58	たましん歴史・美術館で開催する「生誕100年佐藤多持展～水芭蕉曼陀羅／果てしなき運動体～」にあわせ、佐藤多持の90年代～2000年代晩年に至る仕事作品を紹介する展覧会を同時開催します。	800
2	たましんギャラリー閉廊展 「たましんギャラリー」の作家たち -1974～2019年の歩み-	自主	I 会期 テーマ:風景 6月6日(木) ～7月23日(火) II 会期 テーマ:人物 7月25日(木) ～8月13日(火) III 会期 テーマ:抽象 8月15日(木) ～9月30日(月)	77	個展817回、グループ展140回の展示を行い、多摩地区で活動する作家を紹介してきた当ギャラリーでの1974年から現在に至るこれまでを振り返り、今後に想いをつなぐささやかな試みを行う展覧会を3会期に分けて開催します。 風景や具象、抽象といった1974年の開廊記念展の作家、倉田三郎、関頑亭、佐藤多持と、2017年に開催した次世代展の作家、柿崎覚、大石奈穂、平丸陽子の作品のほか、「たましんコレクション」より選りすぐりの多摩の作家の作品を展示します。 会場では、「お気に入りの1点」「多摩のすきなところ」を来廊者からコメントを寄せていただき掲示します。 また、映像で1974年から2019年までのギャラリー展示をスライドショーで上映します。	

## (3) 調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画				事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間			
1	作家研究・データベース構築	自主	通年		倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ継続して所蔵作品や資料の調査、作家研究を行い、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築して、将来の情報発信や展覧会開催のための基礎データとして活用します。 来年度(2020年)に企画を予定している現代多摩の作家展の準備にとりかかります。 2021年以降、松村健三郎、原光子、山口瞳、小貫政之助等の多摩の作家たちの展覧会開催に向け、調査・研究を進めます。さらに、次世代展の準備や公募展の検討として、多摩地域を拠点とした4美術大学(多摩美術大学、東京造形大学、武蔵野美術大学、女子美術大学)の卒業生等、若手作家を調査します。	320
2	作品・資料の収集				倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ多摩地域の重要な作家の作品・資料、多摩地域の美術に関する図書等を引き続き収集します。	
3	作品の修復及び額新装				展覧会での展示にあわせ作品のマット新装、額新装を行うほか、劣化作品については専門業者による画面修復について検討します。今年度は、平成30年に寄贈を受けた小貫政之助の作品、および劣化の恐れのある遠藤彰子の作品などを検討しています。	
4	資料保存環境の整備				資料保存環境整備について継続して実施します。展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財IPM資料(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行います。加えて、定期的に収蔵庫内の清掃を行い、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存します。	
5	所蔵作品のフィルムデータの整備				所蔵作品に関する「ポジフィルム」の整備を実施し、所蔵品目録の作成、所蔵品のデジタルアーカイブ化の準備をします。	
6	美術図書資料				収蔵作家および多摩地域に関連した美術資料の充実を図ります。整理作業を定期的に行い、配架します。	

(4) 美術講座・美術教育

① ギャラリートークの開催

計画事業 通し番号	計 画			予 算 額 (千円)	
	事 業 名	自主・共催	実施期間		
1	生誕100年佐藤多持展	自主	4月16日(火)、5月25日(土) 各回 14:00～	画家・佐藤多持の生誕100年を記念した回顧展「生誕100年佐藤多持展」の展覧会の関連事業。 担当学芸員 藤森梨衣が展示作品の解説を行います。	
2	美術のぼうけん★展	自主	7月20日(土) 対象:未就学児 8月24日(土) 対象:小学4～6年生 各回 14:00～		たましんコレクションの絵画や版画・彫刻・古陶磁などを、「ぼうけん」をテーマとして親しむ機会を提供する「美術のぼうけん★展」の関連事業。 担当学芸員 杉本藍が、対象者に合わせた展示作品の解説を行います。
3	東洋古陶磁展	自主	11月15日(金) 14:00～		たましんコレクションから、日本・中国・朝鮮の古陶磁を展示し、三国のやきものの魅力を紹介する「東洋古陶磁展」の関連事業。 担当学芸員 藤森梨衣が展示作品の解説を行います。

② トークイベント型の作品解説

1	生誕100年佐藤多持展	自主	4月13日(土) 14:00～15:30	画家・佐藤多持の生誕100年を記念した回顧展「生誕100年佐藤多持展」の展覧会の関連イベント。 イベント名: 生誕100年記念トークセッション「佐藤多持を語る」 登壇者: 佐藤美喜子氏(佐藤多持夫人)、佐野佳世氏(画廊『岳』代表) 知久正義氏(WIIL美術家会代表) 会場: 多摩信用金庫国立支店3階 ラウンジ 募集人員: 50名(事前申込制) 参加費: 無料	130
		自主	6月22日(土) 14:00～	画家・佐藤多持の生誕100年を記念した回顧展「生誕100年佐藤多持展」の展覧会開催の関連イベント。 生涯の作品変遷を、担当学芸員 藤森梨衣がわかりやすく解説します。 イベント名: 学芸員によるスライドレクチャー 会場: 多摩信用金庫国立支店3階 ラウンジ 参加費: 無料	
2	美術のぼうけん★展	自主	7月27日(土) 14:00～ 対象: 中学生以上	子ども対象の「美術のぼうけん★展」の関連イベント。 中学生以上を対象に、展示作家 大岡澄雄氏と担当学芸員 杉本藍による対話型のギャラリートークを行います。 イベント名: スペシャルトーク①「画家の大岡澄雄さんと作品をたのしもう！」	
		自主	8月31日(土) 14:00～ 対象: 小学1～3年生	子ども対象の「美術のぼうけん★展」の関連イベント。 小学1～3年生を対象に、展示作家大塩英生氏と担当学芸員 杉本藍による対話型のギャラリートークを行います。 イベント名: スペシャルトーク②「彫刻家の大塩英生さんと作品をたのしもう！」	

③ スケッチ講座

1	スケッチ講座	自主	<桜の日> 4月10日(水)、11日(木) 各回 10:00～15:30	御岳美術館では「スケッチの日」として、御岳美術館周辺でのスケッチ体験講座を行います。入館料のみで参加可能。当財団の学芸員が受講者一人ひとりにワンポイントアドバイスもおこないます。今回が最終回となります。
---	--------	----	--	---

(5) 地域との連携

① 美術講演会

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	美術講演会	共催	全3回 第1回 5月19日(日) 第2回 6月2日(日) 第3回 6月23日(日) 各回 14:00～16:00	(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団、くにたちギャラリーネットワークとの共催事業として美術講演会を行います。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、全3回講演を予定しています。 講演名：「クリムト没後100年記念・シリーズ全3回『魅惑の世紀末絵画』」 第1回 「ロートレック～モンマルトルの哀愁～」 第2回 「クリムト～世紀末ウィーンの光芒～」 第3回 「ムンク～北欧・魂の叫び～」 講師：斎藤陽一氏（元NHK「日曜美術館」プロデューサー、嘉悦大学客員教授） 会場：くにたち市民芸術小ホール 募集人員：各回75名(延べ225名) 受講料：無料	100

② 学校との連携

1	地域の小学校との連携	自主	通年	平成30年度に実施した、国立市立第八小学校3、4年生を対象とした作品鑑賞のアウトリーチ事業を継続して行います。 平成31年度は、国立市立第八小学校の全学年の児童を対象に行い、学年によっては美術館での鑑賞ワークショップを行います。ほか多摩地区の小・中学校へも募集を行います。	30
2	美術大学との連携	自主	通年	多摩地域の美術大学の学生に、広報物の制作機会を提供することを目的に、当財団の展覧会に係る広報物制作に関わっていただきます。平成32年度は武蔵野美術大学、女子美術大学デザインルームなど各大学の教員の監修のもと、学生がデザイン・制作した印刷物及び看板類を委託します。  地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へと繋げていきます。 各美術大学への定期的訪問による教授陣との情報交換等を積極的に行います。	

(6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。また、来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行います。	380
2	配布先の検証	自主	通年	平成31年度もポスター・案内はがき・チラシ等の送付先は一律とせず、展覧会の企画内容に応じて変動させます。またその効果の検証を行い、随時改善を図ります。	

(7)「たましん美術館」開設に向けての準備活動

①「たましん美術館(仮称:以下省略)」の展示計画策定・平成32年度の展示準備

計画事業 通し番号	計 画			計 画
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「たましん美術館」の展示計画の策定	自主	通年	平成32年度春の開設後3年間の展示計画を策定します。 新美術館は建物が新築のため、建材等から美術品に悪影響を及ぼす可能性のあるガスが発生することから、開設後2年間程度の「枯らし期間」が必要となります。そのため2年間は収蔵作品の展示を柱とした展示計画を策定します。
2	「たましん美術館」の展示準備			上記計画に基づき、「たましん美術館」開設以降3年分の展覧会準備を行います。 開館2年間は、「近代洋画の優品展」「東洋古陶磁展」「現代多摩の作家たち展」等所蔵品による展覧会及び、「第2回次世代支援プロジェクト展」を計画しています。 3年目以降は、子どもを対象としたワークショップ等参加型の現代作家による展覧会、松村健三郎、原光子、山口瞳、小貫政之助等の多摩の作家たちの展覧会開催を検討しています。

②作品貸借の準備

1	たましんコレクション貸与に関する規程等の制定	自主	通年	<p>「枯らし期間」が終了する新美術館開設3年目以降は他の美術館等、外部からの作品を借用することによる展示を計画しています。 他館より作品を借用するために先ず、自館から他館へ貸し出し実績を積み重ねる必要があるため、その環境づくりのために、次の施策を検討実施いたします。</p> <p>①たましんコレクションを外部に貸与するための規程制定等の体制整備を行います。 ②所蔵品を概観できる所蔵品図録を作成し、他館へ周知することで、他館からの借用依頼を得やすくします。 ③他館への貸し出し作品の保管環境の整備を行います。 ④作品の貸借のために外部専門家、識者を含んだアドバイザー組織の立ち上げを検討します。 なお、具体的な貸し出し先については、当初5年間は多摩地区の美術館を、5年目以降は関東圏の美術館を想定しています。</p>
2	収蔵品作品図録の作成			
3	作品借用規程の検討			
4	他館とのネットワーク作り			
5	作品所蔵先の調査 (他館所蔵品図録の収集を含む)			

2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業(公2)

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(予算額 13,445 千円)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	174号「用水と暮らし」(仮題)	自主	5月	多摩地域の各地にあった用水は、飲料・生活・灌漑・水車など多様な役割を担って人びとの生活を支えてきました。また現在では、周辺の環境を保全しています。多摩川中流域や玉川上水沿いに所在する用水の様子を紹介します。	10,175
2	175号「歩いて感じる多摩の地形と歴史」(仮題)	自主	8月	第16号特集「多摩の散歩道」から40年、インターネットの発達で、散歩中にデジタルマップで古い地図を調べつつ歩くこともできるようになりました。多摩各地の自然や歴史、街の成り立ちを楽しみつつ考え、散歩するコースを紹介します。	
3	176号「米軍基地と多摩」(仮題)	自主	11月	第2次世界大戦後、東京近郊に位置する多摩地域には多数の米軍基地や関連施設が置かれました。諸施設の概要をふまえて、グリーンパーク・調布水耕農場・アメリカンスクールなど、さまざまな米軍基地をとり上げます。	
4	177号「多摩の昔話」(仮題)	自主	平成32年2月	民話の特集は第24号・第67号で組まれました。それ以降、瑞穂町周辺や東村山市、八王子市、町田市などで、民話の掘り起こしや読み聞かせなどの活動が見られます。多摩各地の民話や、民俗学からの民話研究の位置づけなどを紹介します。	

(2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	1,885
2	国土地理院発行の多色刷地形図の収集	自主	通年	近年、一般財団法人日本地図センターのWebサイトが充実し、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入できるようになりました。明治期から平成期にかけての2万5千分の1地形図をはじめ、1万分の1地形図、5万分の1地形図、175点を3ヶ年計画で収集しています。最終年度の平成31年度は、多摩全域の1万分の1多色刷地形図49点を収集します。	

## (3)多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。23回目を迎えた平成31年度は、テーマとして「多摩の旧石器時代」を予定しています。 会場：多摩信用金庫府中支店 4階会議室 定員：110名 受講料：無料	485

## (4)地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明
	事業名	自主・共催	実施期間	
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館、東京都立多摩図書館や、国分寺市に移転してくる東京都公文書館との連携を深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化します。

## (5)多摩金融史関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	多摩金融史研究会による「多摩の金融史」(『多摩のあゆみ』に連載)は、8回目まで掲載してきました。 同研究会のメンバーが、公益財団法人全国銀行学術研究振興財団から学術研究助成を受けることになりました。これにより体制を整備し、多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の資料整理をさらに進めます。	200

## (6)広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画			事業内容及び説明	予算額 (千円)
	事業名	自主・共催	実施期間		
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	200
2	歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化	自主	通年	平成30年度は、ADEAC(株)のデジタルアーカイブシステムに、歴史資料室所蔵資料の絵図・地図16点とチラシ23点の計39点をデジタルアーカイブで公開しました。 平成31年度は継続して歴史資料室所蔵の絵葉書を公開して、どなたでも閲覧できるようにします。	500

収益目的事業

1. 物品販売事業及び喫茶事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(予算額 90 千円)

(1)物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	物品販売事業	自主	通年 ※御岳美術館は 9月30日(月)まで	たましん歴史・美術館で、オリジナルの絵はがきを販売します。 御岳美術館では、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種お土産品の委託販売を行います。	65

(2)喫茶事業

計画事業 通し番号	計 画			計 画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	喫茶事業	自主	～9月30日(月)	御岳美術館で、来館者にコーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を300円で提供します。	25

平成 31 年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

平成31年度収支予算書(正味財産増減ベース)

平成31年4月1日から平成32年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

(単位:円)

科 目	平成31年度 予算額(イ)	公益目的事業会計(内訳表)				収益事業等会計		法人会計	平成30年度 予算額(ロ)	増減 (イ)-(ロ)
		公1	公2	共通	小計	取1	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	1,890,000	0	0	1,890,000	1,890,000	0	0	0	1,140,000	750,000
基本財産運用益	1,890,000			1,890,000	1,890,000		0		1,140,000	750,000
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000			10,000	10,000		0		10,000	0
固定資産受贈益	390,000	360,000	0	0	360,000	30,000	30,000	0	425,000	△ 35,000
固定資産受贈益	390,000	360,000			360,000	30,000	30,000		425,000	△ 35,000
事業収益	3,320,000	3,000,000	50,000	0	3,050,000	270,000	270,000	0	1,930,000	1,390,000
入館料収益	1,500,000	1,500,000			1,500,000		0		1,400,000	100,000
図録販売収益	1,500,000	1,500,000			1,500,000		0		30,000	1,470,000
出版事業収益	50,000		50,000		50,000		0		50,000	0
喫茶事業収益	70,000				0	70,000	70,000		100,000	△ 30,000
物品販売収益	200,000				0	200,000	200,000		350,000	△ 150,000
受取寄付金	61,000,000	1,000,000	0	57,000,000	58,000,000	0	0	3,000,000	60,000,000	1,000,000
受取寄付金	61,000,000	1,000,000		57,000,000	58,000,000		0	3,000,000	60,000,000	1,000,000
雑収益	140,000	0	0	40,000	40,000	0	0	100,000	40,000	100,000
雑収益	140,000			40,000	40,000		0	100,000	40,000	100,000
<b>経常収益計(A)</b>	<b>66,750,000</b>	<b>4,360,000</b>	<b>50,000</b>	<b>58,940,000</b>	<b>63,350,000</b>	<b>300,000</b>	<b>300,000</b>	<b>3,100,000</b>	<b>63,545,000</b>	<b>3,205,000</b>
(2) 経常費用										
事業費/管理費(法人会計)	68,150,000	36,260,000	27,850,000	0	64,110,000	270,000	270,000	3,770,000	64,685,000	3,465,000
売上原価	1,070,000	1,000,000	40,000	0	1,040,000	30,000	30,000	0	80,000	990,000
役員報酬	550,000	0	0	0	0	0	0	550,000	450,000	100,000
給料手当	19,430,000	10,120,000	8,830,000	0	18,950,000	0	0	480,000	16,850,000	2,580,000
臨時雇賃金	8,110,000	6,240,000	1,820,000	0	8,060,000	50,000	50,000	0	8,150,000	△ 40,000
賞与引当金繰入	1,050,000	600,000	450,000	0	1,050,000	0	0	0	1,050,000	0
退職給付費用	510,000	220,000	290,000	0	510,000	0	0	0	490,000	20,000
法定福利費	3,410,000	1,800,000	1,530,000	0	3,330,000	0	0	80,000	2,900,000	510,000
福利厚生費	250,000	130,000	80,000	0	210,000	0	0	40,000	400,000	△ 150,000
旅費交通費	1,460,000	1,010,000	350,000	0	1,360,000	0	0	100,000	1,285,000	175,000
通信運搬費	2,480,000	850,000	1,310,000	0	2,160,000	10,000	10,000	310,000	2,400,000	80,000
減価償却費	920,000	660,000	150,000	0	810,000	30,000	30,000	80,000	785,000	135,000
消耗什器備品費	890,000	500,000	290,000	0	790,000	0	0	100,000	865,000	25,000
消耗品費	1,110,000	500,000	390,000	0	890,000	10,000	10,000	210,000	1,040,000	70,000
修繕費	120,000	90,000	20,000	0	110,000	0	0	10,000	125,000	△ 5,000
印刷製本費	9,120,000	1,040,000	8,050,000	0	9,090,000	0	0	30,000	9,750,000	△ 630,000
燃料費	80,000	30,000	30,000	0	60,000	0	0	20,000	80,000	0
光熱水料費	1,540,000	1,250,000	210,000	0	1,460,000	10,000	10,000	70,000	2,145,000	△ 605,000
賃借料	2,180,000	1,560,000	370,000	0	1,930,000	20,000	20,000	230,000	2,810,000	△ 630,000
保険料	1,060,000	1,010,000	30,000	0	1,040,000	0	0	20,000	1,055,000	5,000
諸謝金	1,050,000	50,000	1,000,000	0	1,050,000	0	0	0	1,000,000	50,000
保守管理費	1,030,000	740,000	210,000	0	950,000	0	0	80,000	1,860,000	△ 830,000
会議費	580,000	100,000	130,000	0	230,000	0	0	350,000	625,000	△ 45,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	460,000	100,000	350,000	0	450,000	0	0	10,000	460,000	0
委託費	8,440,000	6,350,000	1,680,000	0	8,030,000	30,000	30,000	380,000	6,610,000	1,830,000
研修費	80,000	30,000	20,000	0	50,000	0	0	30,000	80,000	0
宣伝費	10,000	10,000	0	0	10,000	0	0	0	10,000	0
仕入費	80,000	0	0	0	0	80,000	80,000	0	150,000	△ 70,000
諸会費	720,000	150,000	200,000	0	350,000	0	0	370,000	730,000	△ 10,000
交際費	200,000	0	0	0	0	0	0	200,000	200,000	0
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	100,000	△ 90,000
雑費	50,000	20,000	20,000	0	40,000	0	0	10,000	50,000	0
<b>経常費用計(B)</b>	<b>68,150,000</b>	<b>36,260,000</b>	<b>27,850,000</b>	<b>0</b>	<b>64,110,000</b>	<b>270,000</b>	<b>270,000</b>	<b>3,770,000</b>	<b>64,685,000</b>	<b>3,465,000</b>
<b>当期経常増減の部(A)-(B)</b>	<b>△ 1,400,000</b>	<b>△ 31,900,000</b>	<b>△ 27,800,000</b>	<b>58,940,000</b>	<b>△ 760,000</b>	<b>30,000</b>	<b>30,000</b>	<b>△ 670,000</b>	<b>△ 1,140,000</b>	<b>△ 260,000</b>
2. 経常外増減の部	0									0
(1) 経常外収益	0									0
経常外収益計(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0									0
経常外費用計(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部(C)-(D)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	7,095	7,095	△ 7,095	△ 7,095	0	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 1,400,000</b>	<b>△ 31,900,000</b>	<b>△ 27,800,000</b>	<b>58,947,095</b>	<b>△ 752,905</b>	<b>22,905</b>	<b>22,905</b>	<b>△ 670,000</b>	<b>△ 1,140,000</b>	<b>△ 260,000</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>49,811,337</b>	<b>△ 178,167,018</b>	<b>△ 203,245,095</b>	<b>420,793,760</b>	<b>39,381,647</b>	<b>2,118,734</b>	<b>2,118,734</b>	<b>8,310,956</b>	<b>50,767,266</b>	<b>△ 955,929</b>
<b>一般正味財産期末残高(E)</b>	<b>48,411,337</b>	<b>△ 210,067,018</b>	<b>△ 231,045,095</b>	<b>479,740,855</b>	<b>38,628,742</b>	<b>2,141,639</b>	<b>2,141,639</b>	<b>7,640,956</b>	<b>49,627,266</b>	<b>△ 1,215,929</b>
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	△ 390,000	△ 360,000	0	0	△ 360,000	△ 30,000	△ 30,000	0	△ 425,000	35,000
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>△ 390,000</b>	<b>△ 360,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 360,000</b>	<b>△ 30,000</b>	<b>△ 30,000</b>	<b>0</b>	<b>△ 425,000</b>	<b>35,000</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>844,255,914</b>	<b>542,753,645</b>	<b>0</b>	<b>300,000,000</b>	<b>842,753,645</b>	<b>1,502,269</b>	<b>1,502,269</b>	<b>0</b>	<b>844,680,973</b>	<b>△ 425,059</b>
<b>指定正味財産期末残高(F)</b>	<b>843,865,914</b>	<b>542,393,645</b>	<b>0</b>	<b>300,000,000</b>	<b>842,393,645</b>	<b>1,472,269</b>	<b>1,472,269</b>	<b>0</b>	<b>844,255,973</b>	<b>△ 390,059</b>
<b>III 正味財産期末残高(E)+(F)</b>	<b>892,277,251</b>	<b>332,326,627</b>	<b>△ 231,045,095</b>	<b>779,740,855</b>	<b>881,022,387</b>	<b>3,613,908</b>	<b>3,613,908</b>	<b>7,640,956</b>	<b>893,883,239</b>	<b>△ 1,605,988</b>

令和元年度

# 事業報告書

公益財団法人たましん地域文化財団

# 目 次

1. 事業の概要	1
2. 各種事業に関する報告	3
公益目的事業	3
1. 公1 美術館・ギャラリーの運営事業	3
(1) 企画展覧会	3
① たましん歴史・美術館	3
② 御岳美術館	4
(2) たましんギャラリー	4
(3) 調査・研究・収集・保存	5
(4) 美術講座・美術教育	5
① ギャラリートークの開催	5
② トークイベント型の作品解説	6
③ スケッチ講座	6
(5) 地域との連携	6
① 美術講演会	6
② 学校との連携	7
(6) 広報・普及活動	7
(7) 「たましん美術館」開設に向けての準備活動	7
① 「たましん美術館」の展示計画策定・令和2年度の展示準備	7
② 作品貸借の準備	8
2. 公2 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業	9
(1) 『多摩のあゆみ』の刊行	9
(2) 歴史資料室の運営	10
(3) 多摩の歴史講座	10
(4) 地域とのネットワーク強化	11
(5) 「多摩の金融史」関係資料の整理	11
(6) 広報・普及活動	11
収益目的事業	12
3. 収1 物品販売事業及び喫茶事業	12
(1) 物品販売事業	12
(2) 喫茶事業	12
3. 管理	13
役員等及び役員会等に関する事項	13
1. 評議員、理事及び監事の名簿	13
2. 評議員会、理事会に関する事項	15
4. 附属明細書	17
1. たましん歴史・美術館実績一覧	17
2. 御岳美術館実績一覧	18
3. たましんギャラリー展覧会名及び来場者数	19

## 1. 事業の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、多摩で暮らす人々に美術・歴史を愉しんでいただき、かつその担い手である作家・研究者を応援することを通じて地域文化の発展に貢献することを目的に事業を実施しています。

令和元年度は、当財団としての大きな節目となりました。昭和49年に開廊した「たましんギャラリー」と平成5年に開館した「御岳美術館」の両館をこの9月に閉じました。一方並行して実施した立川市に開設するたましん美術館の準備作業は順調に進んでおり、令和2年5月18日にオープンする予定です。

当財団の計画した事業の実施状況は概ね予定通りでしたが、美術については展覧会の入館数が前年度ほど伸びずやや残念な結果となりました。一方、歴史は『多摩のあゆみ』の年4回の発行に加え、収蔵資料のデジタル化による公開等を着実に進めることができました。

総括すると、しっかりとした事業の基盤作りをしながら、皆様に美術・歴史を愉しんでもらうための新しい取組みも着実に実施された1年であったといえます。

### 1.美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

「たましん歴史・美術館」は例年通り、年度計画に沿って4会期の企画展を実施しました。今季は、春季に「生誕100年佐藤多持展」、夏季に例年通り児童・生徒を主たる対象とした「美術のぼうけん★」、秋季に「東洋古陶磁展」、そして冬季から令和2年春季にかけて「たましんコレクション展」を開催しました。

当初計画では前年度と同水準の入館者数を期待しましたが、残念ながら5,026人と前年度比48%減となりました。この主な要因は、夏季開催「美術のぼうけん★」が例年並みの入館者数に留まったこと、そして年度終盤には新型コロナウイルスの感染拡大予防のため休館（令和2年3月5日から23営業日）を余儀なくされたことが挙げられます。ただ、春季開催の「佐藤多持展」は作品の質の高さに加え他館や地元ギャラリーとのコラボレーションという新たな取組みもあり、大変好評な展覧会となりました。

「御岳美術館」は、9月29日に26年の歴史に幕を下ろしました。最終日まで「美と出逢うたましん御岳美術館展」と題して、たましんコレクションの中から近代日本の名品を展示しましたが、入館者数993人（1日平均6.4人）と減少傾向は変わらず、少々寂しい終わりとなりました。その閉館から2週間後に台風19号による多摩川の氾濫がありましたが、作品はすべて無事であり、これについては不幸中の幸いであったといえます。

「たましんギャラリー」も同様に9月30日に45年の歴史に幕をおろしました。令和元年度は作家への貸与は行わず、4月から6月前半まで「たましん歴史・美術館」で開催した「佐藤多持展」のサテライト展示を、そしてその後9月末までは長年蒐集した「多摩の作家」作品による「たましんギャラリー閉廊展」を開催しました。

その他、美術講座、展覧会に組み込んだイベントやギャラリートーク、そして地域の小学校でのアウトリーチ事業は計画通りに実施することができ、広く美術の楽しさを伝えることができました。

加えて、新美術館の開設に向けての準備活動は多摩信用金庫の関連部署と連携を図りなが

ら順調進み、令和 2 年 5 月には予定通りのオープンを迎えることができそうです。また開館後の展覧会企画の準備や図録の作成作業も計画に沿って進んでいます。

## 2. 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営（公2）

歴史事業の柱である『多摩のあゆみ』は、例年通り 174 号から 177 号まで 4 回発行しました。各号の特集では、174 号「用水と暮らし」、175 号「多摩の散歩道 2—地形を味わう—」、176 号「米軍基地と多摩」、177 号「多摩の昔話」を取上げました。174 号からは新しく「多摩の歴史を立体視！ —赤色立体地図の風景—」の連載を開始し、巻頭に赤色立体地図を掲載して論考と合わせて愉しんでいただきました。また「多摩の金融史」では多摩信用金庫の前身である「立川信用組合」の草創期についての研究を 177 号に掲載しました。

（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業「多摩の歴史講座」は第 23 回となり、今年度は「旧石器時代から縄文時代へ ～環境の変動と人々の適応～」と題して、人間が気候変動に適応しながら文化を持ち始めた時代について、多摩地区の遺跡などを参考に各講師に解説いただいた 5 回講座でした。

歴史資料室は今年度も図書・雑誌等の歴史資料 968 点を収集・整理したほか、デジタルアーカイブとして、『多摩のあゆみ』のバックナンバーのうち 101～120 号までを追加するとともに、新連載となった赤色立体地図をデジタルアーカイブとしてご覧いただけるよう公開しました。

そのほか、計画にあった「国土地理院発行の多色刷地形図」の購入や、地域とのネットワーク強化の一環としての国文学研究資料館、東京都立多摩図書館、各市市史編纂作業への参加等、地域とのネットワーク強化には今年度も積極的に取り組みました。

2. 各種事業に関する報告

公益目的事業

1. 公1 美術館・ギャラリーの運営事業

(定款第4条第1項第1号、第2号、第4号、第5号、第7号)

(1) 企画展覧会

① たましん歴史・美術館

計画事業 通し番号	計画項目			報 告	入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明		
1	生誕100年佐藤多持展 ～水芭蕉曼陀羅ノ果てしなき運動体～	自主	前期展: 4月2日(火) ～5月12日(日) 後期展: 5月18日(土) ～6月30日(日)	画家・佐藤多持の生誕100年を記念した回顧展を開催しました。初期～60年代の作品は通期展示、前期展では70～80年代の作品、後期展とたましんギャラリーでは90年代～2004年の作品を中心とし、初期作品から絶筆まで全120点を展示。《水芭蕉曼陀羅》と、ドローイングや色紙、初期作品ほか写真・画材などの関連資料により、生涯の芸術表現の変遷を辿りました。また本展にあわせ、5年の歳月をかけ1980年に完成・奉納した生家・観音寺では、水芭蕉曼陀羅36面の襖絵が特別公開されました。連携展示が、青梅市立美術館、画廊『岳』、コート・ギャラリー国立、ギャラリー国立の近隣4施設で開催されました。	342,800	2,254 (1,158)
2	美術のぼうけん★	自主	7月20日(土) ～9月15日(日)	「ぼうけん」をテーマに、絵画や版画、彫刻、古陶磁などのたましんコレクションに親しむ子ども対象の展覧会を開催しました。「まもる星」「さがす星」「まねる星」「くらべる星」「かんさつする星」「つたえる星」「そうぞうする星」の7つの星をめぐる、それぞれの星でミッションに答えながら作品を鑑賞することで、作品をみることの面白さや楽しさにふれる内容としました。	56,500	1,196 (565)
3	東洋古陶磁展 ～陶芸入門・古陶磁のいろは～	自主	10月1日(火) ～12月8日(日)	たましんコレクションから、日本・中国・朝鮮の古陶磁を展示し、三国のやきものの魅力をご紹介します。本展は陶芸に関する基礎知識を身に付けることで、やきものに一層親しむ内容です。また、たましんコレクションの絵画作品を併設展示します。	80,000	1,038 (800)
4	たましんコレクション展一線からはじまる。	自主	前期:令和2年 1月7日(火)～3 月8日(日) 後期:令和2年 3月17日(火)～6 月28日(日)	日本画や浮世絵、工芸などのたましんコレクションを展示し、作者によって生み出された“線”から作品の魅力を感じとる展覧会を開催しました。前期展示では浮世絵や日本画を、後期展示では彫刻を中心に、約90点の作品を展示しました。尚、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月5日より6月28日まで臨時休館としました。	34,100	538 (341)
4会期 合計					513,400	5,026 (2,864)

② 御岳美術館

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告		入館料収入 (円)	入館者数(人) (有料入館者)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明			
1	美と出逢うたましん御岳美術館展 ◇倉田三郎記念室 旅の素描ー世界ー ◇常設 日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち	自主	平成31年 2月19日(火) ～令和元年 9月29日(日)	近代洋画、工芸を中心にしたましんコレクションを紹介する展覧会を開催しました。		317,200 (357,300) (展覧会通期)	993 (730)
1会期 合計						317,200	993 (730)

(2)たましんギャラリー

① たましんギャラリーの運営

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告		入館者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明		
1	サテライト展示 「生誕100年佐藤多持展 ～水芭蕉曼陀羅／果てしなき運動体～」	自主	前期 4月4日(木) ～4月29日(月・祝) 後期 5月2日(水) ～6月4日(火)	たましん歴史・美術館で開催する「生誕100年佐藤多持展～水芭蕉曼陀羅／果てしなき運動体～」にあわせ、佐藤多持の90年代～2000年代晩年に至る仕事作品を紹介する展覧会を同時開催しました。		656
2	たましんギャラリー閉廊展 「“たましんギャラリー”の作家たち -1974～2019年の歩み-」	自主	I 会期 テーマ:風景 6月6日(木) ～7月23日(火) II 会期 テーマ:人物 7月25日(木) ～8月27日(火) III 会期 テーマ:抽象 8月29日(木) ～9月30日(月)	1974年に開廊し、個展817回、グループ展140回の展示を行い、多摩地区で活動する作家を紹介してきた「たましんギャラリー」は、本店移転に伴い、2019年9月末で閉廊。これまで、たましんギャラリーで個展を開催してきた所蔵品からテーマを設け、「風景」「人物」「抽象」の3会期に分け開催しました。会場では、「お気に入りの1点」「多摩のすきなところ」を来廊者からコメントを寄せいただき掲示しました。また、映像で1974年から2019年までのギャラリー展示をスライドショーで上映しました。		1,222

## (3) 調査・研究・収集・保存

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	作家研究・データベース構築	自主	通年	倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ継続して所蔵作品や資料の調査、作家研究を行い、多摩で活躍してきた作家の資料や活動履歴等をデータベースとして構築して、将来の情報発信や展覧会開催のための基礎データとして活用しました。 来年度(2020年)に企画を予定している現代多摩の作家展の準備にとりかかりました。 2021年以降、松村健三郎、原光子、山口瞳、小貫政之助等の多摩の作家たちの展覧会開催に向け、調査・研究を進めました。さらに、次世代展の準備や公募展の検討として、多摩地域を拠点とした4美術大学(多摩美術大学、東京造形大学、武蔵野美術大学、女子美術大学)の卒業生等、若手作家を調査しました。
2	作品・資料の収集			倉田三郎、関頑亭、佐藤多持をはじめ多摩地域の重要な作家の作品・資料、多摩地域の美術に関する図書等を収集を行いました。
3	作品の修復及び額新装			展覧会での展示にあわせ作品のマット新装、額新装を行うほか、劣化作品については専門業者による画面修復について検討しました。
4	資料保存環境の整備			資料保存環境整備を実施しました。展示室及び収蔵庫の温湿度測定、光量測定を実施するほか、文化財IPM資料(総合的有害生物管理)による定期的な害虫測定を行いました。加えて、定期的に収蔵庫内の清掃を行い、資料保存備品を整え、資料を適切な環境で保存しました。
5	所蔵作品のフィルムデータの整備			所蔵作品に関する「ポジフィルム」の整備を継続して実施し、近代美術、近代彫刻、古陶磁、近代陶芸、近代漆工については、ポジフィルムの整理とデータ化が完了しました。
6	美術図書資料			収蔵作家関連資料6冊、多摩地域に関連した美術資料23冊収集しました。 整理作業を行い、新たに29冊配架しました。

## (4) 美術講座・美術教育

## ① ギャラリートークの開催

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	生誕100年佐藤多持展	自主	4月16日(火) 5月25日(土) 各回 14:00～	画家・佐藤多持の生誕100年を記念した回顧展「生誕100年佐藤多持展」の展覧会の関連事業。 担当学芸員 藤森梨衣が展示作品の解説を行いました。	42
2	美術のぼうけん★展	自主	7月20日(土) 対象: 未就学児 8月24日(土) 対象: 小学4～6年生 各回 14:00～	たましんコレクションの絵画や版画・彫刻・古陶磁などを、「ぼうけん」をテーマとして親しむ機会を提供する「美術のぼうけん★展」の関連事業。 担当学芸員 杉本藍が、対象者に合わせた展示作品の解説を行いました。	16
3	東洋古陶磁展	自主	11月15日(金) 14:00～	たましんコレクションから、日本・中国・朝鮮の古陶磁を展示し、三国のやきものの魅力を紹介する「東洋古陶磁展」の関連事業。 担当学芸員 藤森梨衣が展示作品の解説を行いました。	19

②トークイベント型の作品解説

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明	
1	生誕100年佐藤多持展	自主	4月13日(土) 14:00～15:30	画家・佐藤多持の生誕100年を記念した回顧展「生誕100年佐藤多持展」の関連イベントを実施しました。 イベント名：生誕100年記念トークセッション「佐藤多持を語る」 登壇者：佐藤美喜子氏(佐藤多持夫人)、佐野佳世氏(画廊『岳』代表) 知久正義氏(WIIL美術家会代表) 会場：多摩信用金庫国立支店3階 ラウンジ 募集人員：50名(事前申込制) 参加費：無料	35
		自主	6月22日(土) 14:00～	画家・佐藤多持の生誕100年を記念した回顧展「生誕100年佐藤多持展」の展覧会開催の関連イベントを実施しました。生涯の作品変遷を、担当学芸員 藤森梨衣がわかりやすく解説しました。 イベント名：学芸員によるスライドレクチャー 会場：多摩信用金庫国立支店3階 ラウンジ 参加費：無料	38
2	美術のぼうけん★展	自主	7月27日(土) 14:00～ 対象：中学生以上	子ども対象の「美術のぼうけん★展」の関連イベントを実施しました。 中学生以上を対象に、展示作家 大岡澄雄氏と担当学芸員 杉本藍による対話型のギャラリートークを行いました。 イベント名：スペシャルトーク①「画家の大岡澄雄さんと作品をたのしもう！」	22
		自主	8月31日(土) 14:00～ 対象：小学1～3年生	子ども対象の「美術のぼうけん★展」の関連イベントを実施しました。 小学1～3年生を対象に、展示作家大塩英生氏と担当学芸員 杉本藍による対話型のギャラリートークを行いました。 イベント名：スペシャルトーク②「彫刻家の大塩英生さんと作品をたのしもう！」	10

③ スケッチ講座

1	スケッチ講座	自主	<桜の日> 4月10日(水)・ 11日(木) 各回 10:00～15:30	御岳美術館では「スケッチの日」として、御岳美術館周辺でのスケッチ体験講座を行いました。入館料のみで参加可能としました。当財団の学芸員が受講者一人ひとりにワンポイントアドバイスも行いました。	31
---	--------	----	---	--	----

(5) 地域との連携

① 美術講演会

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	美術講演会  (公財)くにたち文化・スポーツ振興財団、 くにたちギャラリーネットワークとの共催事業	共催	5月19日(日) 14:00～16:00	(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団、くにたちギャラリーネットワークとの共催事業として美術講演会を行いました。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的とし、全3回講演を実施しました。	64
			6月2日(日) 14:00～16:00	講演名：「クリムト没後100年記念・シリーズ全3回『魅惑の世紀末絵画』」 第1回 「ロートレック～モンマルトルの哀愁～」 第2回 「クリムト～世紀末ウィーンの光芒～」 第3回 「ムンク～北歐・魂の叫び～」	61
			6月23日(日) 14:00～16:00	講師：斎藤陽一氏 (元NHK「日曜美術館」プロデューサー、嘉悦大学客員教授) 会場：くにたち市民芸術小ホール 受講料：無料	65

②学校との連携

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
1	地域の小学校との連携	自主	通年	平成30年度に実施した、国立市立国立第八小学校3、4年生を対象とした作品鑑賞のアウトリーチ事業を継続して行いました。同校小学3年生は、夏の展覧会「美術のぼうけん★」に合わせ、美術館での鑑賞プログラムを実施。ほか多摩地区の小・中学校へ募集を行い、国立市立国立第五小学校では2年生、6年生を対象に、鑑賞プログラムを行いました。全体で2校14回の実施となりました。
2	美術大学との連携	自主	通年	多摩地域の美術大学の学生に、広報物の制作機会を提供することを目的に、当財団の展覧会に係る広報物制作に関わってもらいました。令和元年度は女子美術大学デザインルームの教員の監修のもと、学生に「たましんギャラリー開廊展」「美術のぼうけん★」「たましんコレクション展一線からはじまる。」の印刷物及び看板類のデザイン・制作を委託しました。
			通年	武蔵野美術大学や東京造形大学、女子美術大学の教授陣との情報交換など交流を図り、「たましん美術館」開設以降、連携していくための準備を行いました。

(6) 広報・普及活動

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行いました。また、来館促進を図るため、ポスター・案内はがき・チラシの送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域誌などの地域向けメディアへの情報提供を行いました。
2	配布先の検証	自主	通年	令和元年度もポスター・案内はがき・チラシの送付先は一律とせず、展覧会の企画内容に応じて、配布先をかえました。結果、「生誕100年佐藤多持展」では、全国から美術関係者や愛好家等の集客につながりました。

(7) 「たましん美術館」開設に向けての準備活動

① 「たましん美術館」の展示計画策定・令和2年度の展示準備

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
1	新美術館設置への対応	自主	通年	令和2年度春の開設後3年間の展示計画を策定しました。1年目は「近代洋画の優品展」「東洋古陶磁展」「現代多摩の作家たち展」、2年目は「倉田三郎・佐藤多持・関根亭展」「子ども対象コレクション展」「新収蔵小貫政之助展」「現代多摩の作家たち展」、3年目は「次世代展」「松村健三郎展」「現代多摩の作家たち展」を行います。尚、「現代多摩の作家たち展」はシリーズ化し、1年目より継続して3年目以降も予定しています。
2	「たましん美術館」の展示準備	自主	通年	上記計画に基づき、「たましん美術館」開設以降3年分の展覧会準備を行いました。「近代洋画の優品展」では所蔵品の内容に基づいた所蔵概要を作成、「東洋古陶磁展」では所蔵作品の類例など詳細調査を進めました。「現代多摩の作家たち展」では所蔵作品を総点検し、展示作品を検討しました。2年目以降の展覧会準備では、作品調査や展示内容の検討などを行いました。

②作品貸借の準備

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告
	事業名	自主・共催	実施日・期間	事業内容及び説明
1	たましんコレクション貸与に関する規程等の制定	自主	通年	たましんコレクションの外部への貸し出しを積極的に行っていくため、現行の貸与に関する規程の見直しを行いました。
2	収蔵品作品図録の作成		通年	収蔵作品を概観できる所蔵品図録を製作しました。
3	作品借用規程の検討		通年	他館から作品を借用する展覧会の開催をめざし、作品借用規程の作成を検討しました。
4	他館とのネットワーク作り		通年	多摩地区や都内、関東圏の美術館の展覧会オープニングやギャラリートーク、ワークショップ等を訪問、他館の学芸員と交流を深めました。
5	作品所蔵先の調査 (他館所蔵品図録の収集を含む)		通年	青梅市立美術館や府中市美術館などの多摩地区、アーティゾン美術館、新宿中村屋美術館などの都内にある美術館など、所蔵作品と関わりのある美術館の調査を行いました。

2. 公2 『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業

(定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号)

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	発行部数 (部)
	事業名	自主・共催	発行日	事業内容及び説明	
1	174号「用水と暮らし」	自主	5月15日(水)	多摩各地にあった用水は、飲料・生活・灌漑・水車など、多様な役割を担って人びとの暮らしを支えてきました。また現在では、用水周辺の環境を保全しています。本号では、多摩川中流域や玉川上水沿いに所在する用水の様子を紹介しました。	13,000
2	175号「多摩の散歩道2―地形を味わう―」	自主	8月15日(木)	八王子、小平、武蔵野、調布、狛江、町田、所沢の歴史や自然を味わい、散歩するコースを紹介しました。また本特集にご協力いただいた多摩・武蔵野スリパチ学会で、本誌を手八王子、町田のコースをフィールドワークしました。	13,000
3	176号「米軍基地と多摩」	自主	11月15日(金)	多摩各地にあった軍事施設や軍需工場は終戦とともに米軍に接収され、米軍基地と関連施設が置かれました。行政や多摩の人びとは、米軍基地や将兵に対して、どのように向きあっていたのでしょうか。終戦後の多摩地域の様相を調べるにあたり、参考になることを願って本号を特集しました。	13,000
4	177号「多摩の昔話」	自主	令和2年 2月15日(土)	第67号以来の昔話特集で、小平市、国分寺市、八王子市、檜原村、奥多摩町で採集された昔話や、語り聞かせの活動の実際、昔話採集の活動に至るエピソードを紹介しました。	13,000

## (2) 歴史資料室の運営

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	利用料 (円)	閲覧者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明		
1	歴史資料室の運営	自主	通年 (月・祝・年末年始を 除く)	令和元年度は、図書281冊、雑誌317冊、絵葉書146枚、地図55枚、チラシ4枚、ポスター165枚、合計968点を収集・整理しました。 今期末現在で図書26,613冊、雑誌15,434冊、絵葉書6,281枚、地図1,842枚、チラシ526枚、ポスター4,288枚を公開しています。	無料	閲覧者 用紙 記入者数 601
2	国土地理院発行の多色刷地形図の収集	自主	平成29年～令和元年度	近年、一般財団法人日本地図センターのWebサイトが充実し、国土地理院が発行した旧版地形図の多色刷を購入できるようになりました。明治期から平成期にかけての2万5千分の1地形図をはじめ、1万分の1地形図、5万分の1地形図、175点を3ヵ年計画で収集してきました。 最終年度の令和元年度は、多摩全域の1万分の1多色刷地形図49点を収集しました。		

## (3) 多摩の歴史講座

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告	参加者数 (人)
	事業名	自主・共催	実施日	事業内容及び説明	
1	第23回多摩の歴史講座(1～5講) 旧石器時代から縄文時代へ～環境の変動と 人々の適応～ 募集人数100名 応募人数133名(全員当選とした) (公財)東京市町村自治調査会多摩交流 センターとの共催事業	共催	9月20日(金)	「旧石器時代から縄文時代移行期の気候変動、環境、植生」 講師 工藤雄一郎氏(学習院女子大学国際文化交流学部准教授) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	108
			10月11日(金)	「旧石器時代から縄文時代への移行期はどのような時代か」 講師 佐藤宏之氏(東京大学文学部教授) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	86
			10月25日(金)	「狩りの道具の変化からみえる動物資源への適応」 講師 橋詰潤氏(新潟県立歴史博物館主任研究員) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	61
			11月8日(金)	「土器出現と縄文文化の胎動」 講師 谷口康浩氏(国学院大学文学部教授) 場所 多摩信用金庫府中支店4階会議室 時間 午後1時30分～午後3時30分	101
			11月22日(金)	見学会「国重要文化財・あきる野市前田耕地遺跡の縄文時代草創期出土品をみる」 講師 尾田識好氏(東京都教育庁地域教育支援部管理課主事) 場所 東京都立埋蔵文化財調査センター(多摩市落合1-14-2) 時間 午後1時30分～午後4時00分	71

## (4) 地域とのネットワーク強化

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)、東京都立多摩図書館(国分寺市)をはじめ、移転してくる東京都公文書館(国分寺市)との連携を深め、また今年度も、立川市、多摩市等の市史や記念誌編さんに委員として参加して、各市町村とのネットワークの強化を継続しています。

## (5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、11回目まで掲載してきました。また、記述内容に関する個人情報のガイドラインを多摩信用金庫と協議しました。 多摩金融史研究会のメンバーが公益財団法人全国銀行学術研究振興財団より受けた学術研究助成によって、多摩信用金庫(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影も進捗して、関係資料の分析をさらに進めました。

## (6) 広報・普及活動

## ① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

計画事業 通し番号	計 画			報 告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当時団のホームページにおいて公開しました。 また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』で告知しました。

## ② 『歴史資料室所蔵資料』のデジタルアーカイブ化

1	歴史資料室資料のデジタルアーカイブ化	自主	通年	令和元年度は、『多摩のあゆみ』バックナンバー第101号～第120号、『多摩のあゆみ』第174号より連載を開始した「多摩の歴史を立体視！—赤色立体地図の風景—」の赤色立体地図などをデジタルアーカイブで公開しました。 TRC-ADEAC(株)(文京区)のデジタルアーカイブシステムに、全国106機関(図書館・博物館・大学など)とともに公開して、どなたでも閲覧できます。 本年度(平成31年4月～令和2年3月)の総アクセス数は、257,624pv <sup>※</sup> です。 <small>※pv(page view):ページへのアクセス数の単位。</small>
---	--------------------	----	----	---

収益目的事業

3. 収1 物品販売事業及び喫茶事業

(定款第4条第1項第9号)

(1) 物品販売事業

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告		売上高(円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明		
1	物品販売事業	自主	通年	たましん歴史・美術館ではオリジナル絵はがきの販売、御岳美術館ではオリジナル絵はがきの販売及び、多摩の作家の陶器、染物等みやげ品の委託販売をしました。		絵はがき /国立
			御岳 平成31年4月2日～ 令和元年9月29日			107,200
						12,200
						348,830
						合計 468,230

(2) 喫茶事業

計画事業 通し番号	計 画 項 目			報 告		売上高(円)
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明		
1	喫茶事業	自主	平成31年4月2日～ 令和元年9月29日	御岳美術館で、コーヒー、紅茶、ジュース等飲み物を300円で提供しました。		39,300

### 3. 管理

#### 役員等及び役員会等に関する事項

##### 1. 評議員、理事及び監事の名簿

##### ①評議員

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	きとう しいち 齋藤 慎一	平成28年6月17日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵御嶽神社及び御師家古文書学術調査団 委員
〃	うただ しんすけ 歌田 真介	平成28年6月17日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	東京藝術大学 名誉教授
〃	おかの のりよ 岡野 法世	平成28年6月17日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	陶芸家
〃	つくだ けんすけ 佃 堅輔	平成28年6月17日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	美術評論家 法政大学 名誉教授
〃	こまつ きん 小松 欽	平成28年6月17日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	画家
〃	さかづめ ひでいち 坂詰 秀一	平成28年6月17日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	立正大学 名誉教授
〃	おまた かつとし 小俣 勝俊	平成28年6月17日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 専務理事

②理事

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	やぎ 八木 としろう 敏郎	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫 理事長
理事	おがわ 小川 とみちか 富史	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	有限会社 吉不動産 代表取締役
〃	かわぐち 川口 てつお 哲生	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	株式会社 カワグチオートサービス 代表取締役
〃	むらの 村野 やすなり 安成	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	合名会社 村野醸造所 代表社員
〃	わいだ 和井田 けいこ 慶子	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	岩崎ビルディング株式会社 監査役
〃	ばば 馬場 けんいち 憲一	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	法政大学 名誉教授
〃	わたひき 綿引 こうじ 康司	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	常勤	公益財団法人 立川市地域文化振興財団 理事(非常勤)

②監事

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監事	なかの 中野 たかみち 隆石	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	NPO法人立川教育振興会 理事長
〃	おざわ 小澤 のぶあき 伸光	平成30年6月4日から令和2年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	公認会計士・税理士

## 2. 評議員会、理事会に関する事項

### (1) 会議開催の状況

#### ① 評議員会

開会年月日	件名	会議結果
令和元年6月21日 (定時)	第1号議案 「平成30年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	報告事項① 「平成30年度事業報告及び附属明細書」について	—
	報告事項② 「寄附金等取扱規程」の制定および寄附金の募集について	—
	報告事項③ 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項④ 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—
令和2年3月17日 (第2回)	第1号議案 令和2年度事業計画(案)について	可 決
	第2号議案 令和2年度収支予算(案)について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—

②理事会

開会年月日	件名	会議結果
令和元年6月5日 (第1回)	第1号議案 「平成30年度事業報告及び附属明細書の承認」について	可 決
	第2号議案 「平成30年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認」について	可 決
	第3号議案 「寄附金等取扱規程」の制定及び寄附金募集について	可 決
	第4号議案 令和元年度定時評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—
令和元年12月11日 (第2回)	第1号議案 評議員の本理事会へのオブザーバー参加について	可 決
	第2号議案 「就業規則」の一部改正について	可 決
	第3号議案 積立金(修繕:特定資産)の取崩し方針について	可 決
	第4号議案 新美術館の基本事項について	可 決
	報告事項① 御岳美術館にかかる積立金(修繕:特定資産)の取崩しについて ・野立て看板の撤去について ・台風19号による被害について	—
	報告事項② 御岳美術館の閉館に伴う諸手続きについて ・博物館登録の廃止届の提出について ・公益認定に係る事業の変更届の提出について	—
	報告事項③ 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項④ 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—
令和2年3月9日 (第3回)	第1号議案 令和2年度 事業計画(案)について	可 決
	第2号議案 令和2年度 収支予算(案)について	可 決
	第3号議案 令和元年度第2回評議員会の招集について	可 決
	報告事項① 八木理事長 職務執行状況報告	—
	報告事項② 綿引業務執行理事 職務執行状況報告	—

#### 4. 附属明細書

##### 1. たましん歴史・美術館実績一覧

開館月	開館日数 (日)	入館者数 (人)	入館者数		一日平均(人)
			(有料)	(招待)	
平成31年 4月	25	947	467	480	37.9
令和元年 5月	22	447	222	225	20.3
6月	26	860	469	391	33.1
7月	10	262	124	138	26.2
8月	26	705	311	394	27.1
9月	13	229	130	99	17.6
10月	25	381	297	84	15.2
11月	24	477	361	116	19.9
12月	7	180	142	38	25.7
令和2年 1月	22	239	150	89	10.9
2月	23	273	175	98	11.9
3月	3	26	16	10	8.7
合 計	226	5,026	2,864	2,162	22.2

企画展覧会	会 期	開館 日数 (日)	入館料 (円)	入館者 数 (人)	入館者数		一日 平均 (人)
					(有料)	(招待)	
生誕100年佐藤多持展	4月2日 ~ 6月30日	73	300	2,254	( 1,158 ) ( 1,096 )		30.9
美術のぼうけん展	7月20日 ~ 9月15日	49	100	1,196	( 565 ) ( 631 )		24.4
東洋古陶磁展	10月1日 ~ 12月8日	56	100	1,038	( 800 ) ( 238 )		18.5
たましんコレクション展 -線からはじまる。	令和2年1月7日 ~ 3月4日(前期)	48	100	538	( 341 ) ( 197 )		11.2
合 計		226		5,026	( 2,864 ) ( 2,162 )		22.2

## 2. 御岳美術館実績一覧

開館月	開館日数 (日)	入館者数 (人)	入館者数		一日平均(人)
			有料(人)	招待(人)	
平成31年 4月	25	113	70	43	4.5
令和元年 5月	27	213	168	45	7.9
6月	26	80	56	24	3.1
7月	26	103	62	41	4.0
8月	27	199	164	35	7.4
9月	25	285	210	75	11.4
10月	—	—	—	—	0.0
11月	—	—	—	—	0.0
12月	—	—	—	—	0.0
令和2年 1月	—	—	—	—	0.0
2月	—	—	—	—	0.0
3月	—	—	—	—	0.0
合 計	156	993	730	263	6.4

企画展覧会	会 期	開館 日数 (日)	入館料 (円)	入館者 数 (人)	入館者数		一日 平均 (人)
					(有料)	(招待)	
美と出逢う たましん御岳美術館展	平成31年2月19日 ～令和元年9月29日	156	500	993	( 730 )	( 263 )	6.4
倉田三郎記念室 旅の素描 一世界一					( 730 )	( 263 )	
合 計		156		993	( 730 )	( 263 )	6.4

### 3. たましんギャラリー展覧会名及び来場者数

多摩地域在住・在勤の作家やグループに、たましんギャラリーを展示会場として無償で提供しており、令和元年度は5会期の展示を実施しました。詳細は以下のとおりです。

展覧会名	会期	来場者数(人)
1. 佐藤多持(前期)展	4月4日～4月29日	336
2. 佐藤多持(後期)展	5月2日～6月4日	320
3. ギャラリー閉廊展Ⅰ	6月6日～7月23日	453
4. ギャラリー閉廊展Ⅱ	7月25日～8月27日	317
5. ギャラリー閉廊展Ⅲ	8月29日～9月30日	452
来場者合計		1,878

## 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	540,000	708,100	△168,100
現金	540,000	708,100	△168,100
預金	11,283,393	14,259,893	△2,976,500
普通預金	9,633,393	9,459,893	173,500
定期預金	1,200,000	3,600,000	△2,400,000
定期積金	450,000	1,200,000	△750,000
棚卸資産	2,394,613	2,453,295	△58,682
書籍	961,927	715,125	246,802
絵はがき	1,432,686	1,353,170	79,516
テレホンカード	0	385,000	△385,000
前払費用	161,700	109,360	52,340
未収金	21,650	9,920	11,730
流動資産合計	14,401,356	17,540,568	△3,139,212
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	80,000,000	80,000,000	0
出資金	230,000,000	230,000,000	0
美術品(基本)	519,218,100	519,218,100	0
不動産(土地)	21,169,345	21,169,345	0
不動産(建物)	3,485,491	3,868,469	△382,978
基本財産合計	853,872,936	854,255,914	△382,978
(2) 特定資産			
美術館事業準備積立資産	5,599,000	0	5,599,000
退職給付引当資産	5,830,000	5,270,000	560,000
修繕引当資産	23,400,000	24,410,000	△1,010,000
特定資産合計	34,829,000	29,680,000	5,149,000
(3) その他の固定資産			
電話加入権	291,200	291,200	0
什器備品	1,111,628	1,156,425	△44,797
ソフトウェア	1	1	0
美術品(その他)	410,000	280,000	130,000
その他固定資産合計	1,812,829	1,727,626	85,203
固定資産合計	890,514,765	885,663,540	4,851,225
資産の部合計	904,916,121	903,204,108	1,712,013
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	327,585	606,505	△278,920
未払金	175,390	2,385,088	△2,209,698
未払費用	827,252	0	827,252
賞与引当金	1,510,000	980,000	530,000
流動負債合計	2,840,227	3,971,593	△1,131,366
2 固定負債			
退職給付引当金	5,830,000	5,270,000	560,000
固定負債合計	5,830,000	5,270,000	560,000
負債の部合計	8,670,227	9,241,593	△571,366
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	849,471,936	844,255,914	5,216,022
(うち基本財産への充当額)	( 843,872,936 )	( 844,255,914 )	( △382,978 )
2 一般正味財産	46,773,958	49,706,601	△2,932,643
(うち基本財産への充当額)	( 10,000,000 )	( 10,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 23,400,000 )	( 24,410,000 )	( △1,010,000 )
正味財産の部合計	896,245,894	893,262,515	2,983,379
負債及び正味財産合計	904,916,121	903,204,108	1,712,013

## 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,988,840	730,651	1,258,189
基本財産運用益	8,019	130,651	△122,632
基本財産受取配当金	1,980,821	600,000	1,380,821
特定資産運用益	2,998	2,919	79
特定資産運用益	2,998	2,919	79
固定資産受贈益	512,978	425,059	87,919
固定資産受贈益	130,000	0	130,000
固定資産受贈益振替分	382,978	425,059	△42,081
事業収益	2,798,098	1,999,757	798,341
入館料収益	830,600	1,608,700	△778,100
図録販売収益	1,432,500	148,000	1,284,500
出版事業収益	27,468	33,677	△6,209
喫茶事業収益	39,300	59,700	△20,400
物品販売収益	468,230	149,680	318,550
受取補助金等	1,117,000	0	1,117,000
受取民間助成金	1,117,000	0	1,117,000
受取寄付金	64,000,000	60,000,000	4,000,000
受取寄付金	64,000,000	60,000,000	4,000,000
雑収益	249,470	254,719	△5,249
受取利息	3,002	3,062	△60
雑収益	246,468	251,657	△5,189
経常収益計	70,669,384	63,413,105	7,256,279
(2) 経常費用			
事業費	68,497,107	61,225,494	7,271,613
売上原価	1,201,797	47,578	1,154,219
給料手当	20,185,500	16,316,876	3,868,624
臨時雇賃金	7,655,858	8,229,735	△573,877
賞与引当金繰入	1,510,000	980,000	530,000
退職給付費用	560,000	490,000	70,000
法定福利費	3,558,444	2,915,139	643,305
福利厚生費	413,121	472,713	△59,592
旅費交通費	1,580,322	1,378,222	202,100
通信運搬費	2,299,901	2,246,055	53,846
減価償却費	1,104,313	883,086	221,227
消耗什器備品費	677,827	1,069,333	△391,506
消耗品費	1,061,550	1,351,400	△289,850
修繕費	81,757	96,999	△15,242
印刷製本費	10,778,493	9,124,921	1,653,572
燃料費	41,379	43,683	△2,304
光熱水料費	1,812,243	2,001,249	△189,006
賃借料	1,999,891	2,497,448	△497,557
保険料	993,202	1,048,157	△54,955
諸謝金	1,029,034	928,447	100,587
保守管理費	928,000	1,770,400	△842,400
会議費	135,614	146,295	△10,681
支払負担金	100,000	100,000	0
図書費	383,934	486,902	△102,968
委託費	7,917,072	6,182,834	1,734,238
研修費	0	5,500	△5,500

## 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
宣伝費	129,200	59,000	70,200
仕入費	82,155	82,074	81
諸会費	262,300	265,800	△3,500
雑費	14,200	5,648	8,552
管理費	4,143,313	4,040,863	102,450
役員報酬	262,080	550,720	△288,640
給料手当	480,000	480,000	0
法定福利費	113,158	83,403	29,755
福利厚生費	73,586	91,796	△18,210
会議費	310,615	325,979	△15,364
旅費交通費	177,581	129,339	48,242
通信運搬費	290,874	309,791	△18,917
減価償却費	128,761	68,571	60,190
消耗什器備品費	68,821	69,761	△940
消耗品費	312,746	379,059	△66,313
修繕費	15,698	23,416	△7,718
印刷製本費	156,200	42,095	114,105
燃料費	7,297	10,916	△3,619
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	205,266	227,351	△22,085
保険料	11,328	3,113	8,215
租税公課	30,600	1,600	29,000
保守管理費	72,000	72,000	0
図書費	0	4,400	△4,400
研修費	173,320	29,800	143,520
交際費	203,250	250,076	△46,826
委託費	566,396	450,601	115,795
諸会費	406,200	362,780	43,420
雑費	5,536	2,296	3,240
経常費用計	72,640,420	65,266,357	7,374,063
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,971,036	△1,853,252	△117,784
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,971,036	△1,853,252	△117,784
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取保険金	2,000,000	0	2,000,000
経常外収益計	2,000,000	0	2,000,000
(2) 経常外費用			
災害損失	1,666,207	0	1,666,207
災害修復損失	1,276,000	0	1,276,000
災害損失	390,207	0	390,207
その他経常外費用	1,225,400	0	1,225,400
その他経常外費用	1,071,400	0	1,071,400
棚卸資産処分損	154,000	0	154,000
経常外費用計	2,891,607	0	2,891,607
当期経常外増減額	△891,607	0	△891,607
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△2,932,643	△1,923,252	△1,009,391
一般正味財産期首残高	49,706,601	51,629,853	△1,923,252
一般正味財産期末残高	46,773,958	49,706,601	△2,932,643
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	5,599,000	0	5,599,000

## 正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
出資金（指定）	0	200,000,000	△200,000,000
公社債（指定）	0	△100,000,000	100,000,000
定期預金（指定）	0	△100,000,000	100,000,000
受取寄付金	5,599,000	0	5,599,000
一般正味財産への振替額	382,978	425,059	△42,081
一般正味財産への振替額	382,978	425,059	△42,081
当期指定正味財産増減額	5,216,022	△425,059	5,641,081
指定正味財産期首残高	844,255,914	844,680,973	△425,059
指定正味財産期末残高	849,471,936	844,255,914	5,216,022
<b>Ⅲ 正味財産期末残高</b>	896,245,894	893,962,515	2,283,379

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業会計 収 1	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共通	小 計				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	1,988,840	1,988,840	0	0	0	1,988,840
基本財産運用益	0	0	8,019	8,019	0	0	0	8,019
基本財産受取配当金	0	0	1,980,821	1,980,821	0	0	0	1,980,821
特定資産運用益	0	0	2,998	2,998	0	0	0	2,998
特定資産運用益	0	0	2,998	2,998	0	0	0	2,998
固定資産受贈益	490,000	0	0	490,000	22,978	0	0	512,978
固定資産受贈益	130,000	0	0	130,000	0	0	0	130,000
固定資産受贈益振替分	360,000	0	0	360,000	22,978	0	0	382,978
事業収益	2,263,100	27,468	0	2,290,568	507,530	0	0	2,798,098
入館料収益	830,600	0	0	830,600	0	0	0	830,600
図録販売収益	1,432,500	0	0	1,432,500	0	0	0	1,432,500
出版事業収益	0	27,468	0	27,468	0	0	0	27,468
喫茶事業収益	0	0	0	0	39,300	0	0	39,300
物品販売収益	0	0	0	0	468,230	0	0	468,230
受取補助金等	1,117,000	0	0	1,117,000	0	0	0	1,117,000
受取民間助成金	1,117,000	0	0	1,117,000	0	0	0	1,117,000
受取寄付金	1,000,000	0	60,000,000	61,000,000	0	3,000,000	0	64,000,000
受取寄付金	1,000,000	0	60,000,000	61,000,000	0	3,000,000	0	64,000,000
雑収益	43,670	47,500	46,512	137,682	0	111,788	0	249,470
受取利息	0	0	3,002	3,002	0	0	0	3,002
雑収益	43,670	47,500	43,510	134,680	0	111,788	0	246,468
経常収益計	4,913,770	74,968	62,038,350	67,027,088	530,508	3,111,788	0	70,669,384
(2) 経常費用								
事業費	39,680,205	28,340,526	0	68,020,731	476,376	0	0	68,497,107
売上原価	920,456	11,492	0	931,948	269,849	0	0	1,201,797
給料手当	11,127,280	9,058,220	0	20,185,500	0	0	0	20,185,500
臨時雇賃金	5,817,424	1,778,382	0	7,595,806	60,052	0	0	7,655,858
賞与引当金繰入	1,060,000	450,000	0	1,510,000	0	0	0	1,510,000
退職給付費用	270,000	290,000	0	560,000	0	0	0	560,000
法定福利費	1,968,254	1,590,190	0	3,558,444	0	0	0	3,558,444
福利厚生費	266,094	147,027	0	413,121	0	0	0	413,121
旅費交通費	1,235,028	345,294	0	1,580,322	0	0	0	1,580,322
通信運搬費	1,056,767	1,242,177	0	2,298,944	957	0	0	2,299,901
減価償却費	888,381	192,954	0	1,081,335	22,978	0	0	1,104,313
消耗什器備品費	468,816	209,011	0	677,827	0	0	0	677,827
消耗品費	820,061	241,489	0	1,061,550	0	0	0	1,061,550
修繕費	57,664	24,093	0	81,757	0	0	0	81,757
印刷製本費	1,640,549	9,137,944	0	10,778,493	0	0	0	10,778,493
燃料費	29,211	12,168	0	41,379	0	0	0	41,379
光熱水料費	1,587,837	206,000	0	1,793,837	18,406	0	0	1,812,243
賃借料	1,635,213	352,100	0	1,987,313	12,578	0	0	1,999,891
保険料	977,502	15,700	0	993,202	0	0	0	993,202
諸謝金	65,685	963,349	0	1,029,034	0	0	0	1,029,034
保守管理費	717,000	206,000	0	923,000	5,000	0	0	928,000
会議費	62,909	72,705	0	135,614	0	0	0	135,614
支払負担金	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000
図書費	66,988	316,946	0	383,934	0	0	0	383,934
委託費	6,628,386	1,284,685	0	7,913,071	4,001	0	0	7,917,072
宣伝費	129,200	0	0	129,200	0	0	0	129,200
仕入費	0	0	0	0	82,155	0	0	82,155
諸会費	74,200	188,100	0	262,300	0	0	0	262,300
雑費	9,300	4,500	0	13,800	400	0	0	14,200
管理費	0	0	0	0	0	4,143,313	0	4,143,313
役員報酬	0	0	0	0	0	262,080	0	262,080
給料手当	0	0	0	0	0	480,000	0	480,000
法定福利費	0	0	0	0	0	113,158	0	113,158
福利厚生費	0	0	0	0	0	73,586	0	73,586
会議費	0	0	0	0	0	310,615	0	310,615
旅費交通費	0	0	0	0	0	177,581	0	177,581
通信運搬費	0	0	0	0	0	290,874	0	290,874
減価償却費	0	0	0	0	0	128,761	0	128,761
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	68,821	0	68,821
消耗品費	0	0	0	0	0	312,746	0	312,746
修繕費	0	0	0	0	0	15,698	0	15,698
印刷製本費	0	0	0	0	0	156,200	0	156,200
燃料費	0	0	0	0	0	7,297	0	7,297
光熱水料費	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
賃借料	0	0	0	0	0	205,266	0	205,266
保険料	0	0	0	0	0	11,328	0	11,328
租税公課	0	0	0	0	0	30,600	0	30,600
保守管理費	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
研修費	0	0	0	0	0	173,320	0	173,320
交際費	0	0	0	0	0	203,250	0	203,250
委託費	0	0	0	0	0	566,396	0	566,396
諸会費	0	0	0	0	0	406,200	0	406,200
雑費	0	0	0	0	0	5,536	0	5,536
経常費用計	39,680,205	28,340,526	0	68,020,731	476,376	4,143,313	0	72,640,420
評価損益等調整前当期経常増減額	△34,766,435	△28,265,558	62,038,350	△993,643	54,132	△1,031,525	0	△1,971,036
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△34,766,435	△28,265,558	62,038,350	△993,643	54,132	△1,031,525	0	△1,971,036
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
受取保険金	2,000,000	0	0	2,000,000	0	0	0	2,000,000

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業会計 収 入	法人会計	共通配賦	合 計
	公 1	公 2	共 通	小 計				
経常外収益計	2,000,000	0	0	2,000,000	0	0	0	2,000,000
(2) 経常外費用								
災害損失	1,666,206	0	0	1,666,206	1	0	0	1,666,207
災害修復損失	1,276,000	0	0	1,276,000	0	0	0	1,276,000
災害損失	390,206	0	0	390,206	1	0	0	390,207
その他経常外費用	1,071,400	0	0	1,071,400	154,000	0	0	1,225,400
その他経常外費用	1,071,400	0	0	1,071,400	0	0	0	1,071,400
棚卸資産処分損	0	0	0	0	154,000	0	0	154,000
経常外費用計	2,737,606	0	0	2,737,606	154,001	0	0	2,891,607
当期経常外増減額	△737,606	0	0	△737,606	△154,001	0	0	△891,607
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△35,504,041	△28,265,558	62,038,350	△1,731,249	△169,869	△1,031,525	0	△2,932,643
一般正味財産期首残高	△179,151,885	△204,002,560	422,557,281	39,402,836	2,051,759	8,252,006	0	49,706,601
一般正味財産期末残高	△214,655,926	△232,268,118	484,595,631	37,671,587	1,881,890	7,220,481	0	46,773,958
II 指定正味財産増減の部								
受取寄付金	3,040,000	0	2,559,000	5,599,000	0	0	0	5,599,000
受取寄付金	3,040,000	0	2,559,000	5,599,000	0	0	0	5,599,000
一般正味財産への振替額	360,000	0	0	360,000	22,978	0	0	382,978
一般正味財産への振替額	360,000	0	0	360,000	22,978	0	0	382,978
当期指定正味財産増減額	2,680,000	0	2,559,000	5,239,000	△22,978	0	0	5,216,022
指定正味財産期首残高	542,753,642	0	300,000,000	842,753,642	1,502,272	0	0	844,255,914
指定正味財産期末残高	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	0	0	849,471,936
III 正味財産期末残高	330,777,716	△232,268,118	787,154,631	885,664,229	3,361,184	7,220,481	0	896,245,894

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	80,000,000	0	0	80,000,000
出資金（多摩信用金庫）	230,000,000	0	0	230,000,000
美術品	519,218,100	0	0	519,218,100
土地	21,169,345	0	0	21,169,345
建物	3,868,469	0	382,978	3,485,491
小 計	854,255,914	0	382,978	853,872,936
特定資産				
美術館事業準備積立資産	0	5,599,000	0	5,599,000
退職給付引当資産	5,270,000	560,000	0	5,830,000
修繕引当資産	24,410,000	0	1,010,000	23,400,000
小 計	29,680,000	6,159,000	1,010,000	34,829,000
合 計	883,935,914	6,159,000	1,392,978	888,701,936

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	80,000,000	( 70,000,000)	( 10,000,000)	( 0)
出資金 (多摩信用金庫)	230,000,000	( 230,000,000)	( 0)	( 0)
美術品	519,218,100	( 519,218,100)	( 0)	( 0)
土地	21,169,345	( 21,169,345)	( 0)	( 0)
建物	3,485,491	( 3,485,491)	( 0)	( 0)
小 計	853,872,936	( 843,872,936)	( 10,000,000)	( 0)
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,599,000	( 5,599,000)	( 0)	( 0)
退職給付引当資産	5,830,000	( 0)	( 0)	( 5,830,000)
修繕引当資産	23,400,000	( 0)	( 23,400,000)	( 0)
小 計	34,829,000	( 5,599,000)	( 23,400,000)	( 5,830,000)
合 計	888,701,936	( 849,471,936)	( 33,400,000)	( 5,830,000)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
建物	55,140,074	51,654,583	3,485,491
什器備品	2,306,502	1,194,874	1,111,628
ソフトウェア	509,250	509,249	1
合 計	57,955,826	53,358,706	4,597,120

### 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
芸術文化振興基金 (日本芸術文化振興会)	同法人	0	1,117,000	1,117,000	0	
合 計		0	1,117,000	1,117,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	382,978
合 計	382,978

# 財 産 目 録

令和 2年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管	運転資金 540,000円である。	540,000
現金			540,000
預金			11,283,393
普通預金			9,633,393
多摩信用金庫国立支店	多摩信用金庫国立支店 普通預金	運転資金として	8,774,735
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店 普通預金	運転資金として	858,658
定期預金			1,200,000
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店 定期預金	運転資金として	1,200,000
定期積金			450,000
青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店 定期積金	運転資金として	450,000
棚卸資産			2,394,613
書籍	たましん歴史・美術館、御岳美術館	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での図録販売と、 公2 [『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での出版事業の在庫である。	961,927
絵はがき	たましん歴史・美術館、御岳美術館	収1 [物品販売及び喫茶事業]の在庫である。	1,432,686
前払費用	全国公益法人協会 セコム (株)	法人の管理運営の用に関わる会費である。 46,200円 公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での御岳美術館の 警備保守料である。 115,500円	161,700
未収金	地方小出版流通センターほか	公2 [『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での出版事業の売上代金である。	21,650
<b>流動資産合計</b>			<b>14,401,356</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
定期預金	多摩信用金庫国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の 財源として使用している。	80,000,000
出資金	多摩信用金庫出資金	同上	230,000,000
美術品 (基本)	御岳美術館、武蔵野収蔵庫、国立収蔵庫 全3,815点。	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・ 美術館」「御岳美術館」における展示に使用している。	519,218,100
不動産(土地)	青梅市御岳本町1-1 434.08㎡ 同所同番6 57.91㎡ 合計 491.99㎡	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」 の美術館用地である。 美術館建物延べ床面積のうち94%が美術館、6%が収益 事業である喫茶・物品販売事業の用に供しているため、 同じ比率で按分している。	21,169,345
不動産(建物)	青梅市御岳本町1-1及び1-6 木・鉄筋コンクリート造珪鉛メッキ銅版 ぶき3階建て 1階 83.16㎡ 2階 230.59㎡ 3階 142.43㎡ 合計 456.18㎡	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」 の美術館用地である。 美術館建物延べ床面積のうち94%が美術館、6%が収益 事業である喫茶・物品販売事業の用に供しているため、 同じ比率で按分している。	3,485,491
美術館事業準備積立資産	多摩信用金庫国立支店 普通預金	美術館事業運営のための準備積立金 5,599,000円	5,599,000
退職給付引当資産	多摩信用金庫国立支店 定期預金	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	5,830,000
修繕引当資産	青梅信用金庫中町支店 定期預金	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「御岳美術館」 建物にかかる修繕の財源として管理している。	23,400,000
電話加入権	042-574-1360他3回線	公益目的保有財産である。	291,200
什器備品	パソコン、エアコンほか	(共用財産) 公益目的保有財産及び、公益目的事業に必要な収益事業 等その他の業務又は活動の用に供する財産である。 法人の管理運営の用に供している財産である。	1,111,628
ソフトウェア	会計ソフト	公1 [美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・ 美術館」「御岳美術館」における展示に使用している。	1
美術品 (その他)	国立収蔵庫 全41点		410,000
<b>固定資産合計</b>			<b>890,514,765</b>
<b>資産合計</b>			<b>904,916,121</b>
<b>(流動負債)</b>			
預り金	職員	社会保険料3月分。 239,341円	327,585
	パートタイマー	雇用保険4-3月および賞与分。 65,423円	
		雇用保険4-3月。 6,406円	
		源泉徴収税3月分。 490円	
未払金	富士ゼロックス多摩 (株)	昼食代3月分。 15,925円	175,390
	エムワイウェブ (株)	法人会計での会計ソフトインストール代 (委託費) である。 97,900円	
	総合警備保障 (株)	ウェブサイトの更新料金 (委託費) である。 16,500円	
	(株) エムビーエー	職員、パートタイマーの新型コロナウイルス対策用消毒 代金 (福利厚生費) である。 14,000円	
	(株) 田辺石油商会	公2 [『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業] での図書管理システム使用料に関する委託費である。 41,800円	
未払費用	パートタイマー	公益目的事業及び管理目的の業務の用に供する財団車の ガソリン代 (燃料費) である。 5,190円	827,252
	パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイ マーの3月分の賃金である。 392,445円	
	職員	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイ マーの3月分の交通費である。 27,490円	
		管理目的事業の業務に従事する職員の3月分の交通費で ある。 18,779円	

## 財 産 目 録

令和 2年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
賞与引当金	職員 パートタイマー 職員	社会保険料（事業主負担分） 244,883円 雇用保険料（事業主負担分） 130,843円 雇用保険料（事業主負担分） 12,812円 公益目的事業に従事する職員に対する賞与の支払いに備えたものである。	1,510,000
流動負債合計			2,840,227
(固定負債)			
退職給付引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	5,830,000
固定負債合計			5,830,000
負債合計			8,670,227
正味財産			896,245,894